

「消費者ネットしまね」設立について

1 期日

日 時 令和元年12月20日（金） 13:30～17:30

会 場 松江エクセルホテル東急（松江市朝日町590）

参集者 約120名

2 「消費者ネットしまね」設立記念式典(13:30～16:00)

(1) 朝田良作消費者ネットしまね代表あいさつ

(2) 来賓あいさつ

島根県知事 丸山達也氏

消費者庁長官 伊藤明子氏

(3) 伊藤長官講話

消費者庁長官 伊藤明子氏



朝田良作代表



丸山達也島根県知事



伊藤明子消費者庁長官



記念式典の様子

(4) 記念講演

講師：(公財)消費者教育支援センター専務理事・首席主任研究員
柿野成美氏

演題：「学び、つながり、広げよう・私たちが主役の消費者市民社会」

3 意見交換会(16:00～16:50) 出席者約40人

登壇者：朝田良作消費者ネットしまね代表・理事

伊藤明子消費者庁長官

柿野成美講師

玉樹智文理事（コーディネーター）



柿野成美専務理事



意見交換 登壇者

【会場からの主な意見】

- 消費者教育をすすめるうえで、消費者ネットしまねの設立は良い機会。子どもたちが賢い消費者になるための教育やエシカル消費について考えることは必要。
- 合併前の旧町単位の消費者問題研究協議会がなくなり、消費者問題に関わる様々な情報が伝わって来ない。
- 田舎は狭い地域に人が寄り添って生活している。
田舎は消費者＝生産者であり、東京等のように所得水準も高くない。人口も多くないのに、大規模資本の量販店が乱立し、消費者の取り合いが起こっている。消費者も安ければよいとばかりに、新しい店舗へ流れ、地域に根付いた商店等は経営が難しくなっている。このような生活環境の中で、社会全体や地域の将来を考える若い世代が育つか心配である。